



愛情を持ってよく観察し、ときには声をかけながら世話をします。そうすると、生け垣は応えてくれるんです。

(澤田さん)

ピカピカして、素晴らしい生け垣！澤田さんにとって、大切な人生のパートナーかもしれないですね。

(大西さん・飯山さん)

生け垣助成制度とは…

さいたま市では、道路に面した宅地に、生け垣や植え込みを新たに作る方を対象に「生け垣助成制度」を行っています。

既存のブロック塀を撤去して作る場合は、取り壊し費用の一部も助成対象となります。

助成額は、生け垣・植え込みの延長 (m) x 1万円が上限で、限度額は20万円です。

生け垣には、人の心を和ますだけでなく、空気をきれいにしたり、風や気温を調節したり、騒音を和らげたりする効果もあります。みなさんも始めてみませんか？



▲洋風のコニファーも、立派な生け垣助成対象になります。これなら気軽に取り組めるかも！

■ 問合せ 財団法人さいたま市公園緑地協会
TEL048-836-5678 <http://www.sgp.or.jp>

それぞれの生け垣が近隣につながってけば、まち全体に緑があふ

「**まちの未来へのビジョンが私たちの原動力となるはず**」

「このまちの未来へのビジョンを描くことが、私たちの進んでいく原動力になるのだと思います。」

かき」に。日常の手入れは、水やりと枯れ葉の除去などの作業が中心です。「やってみたら、虫もつかずきれいで心が癒されます」と奥様。「安らぐ家に緑があれば、人は癒されるんですね」と澤田さんは話します。

れ、それがまちの個性になるのだと澤田さんは感じています。「たとえば田園調布のように、緑をみんなが楽しめるようなまちのルールを考えていくことも大切ではないでしょうか。木は確実に成長し、子や孫の世代にも心地よい環境をもたらしてくれま

緑は、「ひとの心を癒すもの」。まちには欠かせないものだと思います。

(澤田さん)



▶お話をうかがいながら、インタビューシートにどんどん書き入れます。



korekara
読者モニターが、**まちづくり**について**突撃取材!**

私たちが取材に行ってきました!
(大西さん(左)、飯山さん(右))

「好きなまちをつくる」をテーマに意見交換した結果、助成制度を利用して生け垣を育てている方を実際に訪問。取り組んだきっかけや思いについて、読者モニターさんに取材していただきました。

お話をうかがったのは… 澤田 護視 さん (見沼区)



家の新築を機に、3年前、「生け垣助成制度」を利用されました。以来、庭の手入れとともに、生け垣を大切に育てていらっしゃいます。

このような制度をもっとたくさんの方に知ってもらい、まちに緑が広がってほしいと、今回の取材に快くご協力いただきました。

家を建て直すときには、「ぜひ生け垣を作ろう」と考えていた澤田さん。助成制度のことは、植木屋さんなどのような木を植えようかと相談

「**安らげる家に緑があれば、人は癒されるんです**ね」

しているときに知ったのだそうです。「家を建てるには費用がかかりますから、助成は本当にありがたかったです」。生け垣の木は、常緑樹で葉色のやさしい「本さ